

放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究

キックオフ・シンポジウム

日 時：2017年6月5日（月） 8:50～16:30

場 所：弘前大学被ばく医療総合研究所

口頭発表会場：F棟1階 大学院講義室 I

ポスター発表会場：F棟2階 遠隔講義室, 大学院セミナー室

【キックオフ・シンポジウム】

共同研究代表挨拶・諸連絡

08:50 恩田裕一(筑波大学)

研究成果口頭発表（発表12分，質疑3分）

セッション1

（座長：田副博文）

09:00 青山道夫（福島大学）（代理：猪股），日本沿岸域における東電福島第一原発事故起源放射性セシウムの再循環の研究

09:15 猪股弥生（金沢大学）北太平洋中央及び亜熱帯モード水へのFNPP1由来放射性セシウム量の見積もり

09:30 津旨大輔，坪野考樹（電力中央研究所）福島第一原子力発電所事故による放射性核種の海洋への直接漏洩率の推定

09:45 本多牧生（海洋研究開発機構）福島沖海底堆積物の再懸濁と水平輸送過程の研究

10:00 齊藤 敬（尚絅学院大学）3Dプリンタと3Dスキャナを利用したガンマ線測定用放射性セシウム基準線源の開発

（座長：有吉健太郎）

10:15 中田章史（北海道薬科大学）高線量汚染地域に生息するアカネズミの染色体を指標とした放射線影響評価

10:30～10:40 休憩

10:40 神田穰太，石丸隆，伊藤友加里（東京海洋大学）福島沿岸海域における高線量粒子の海洋生態系影響

10:55 鄭 建（量研機構放医研）福島第一原発事故初期モニタリング海水における難測定PuおよびCs-135同位体の分布解析

11:10 真田哲也（北海道科学大学）北海道内の鉱泉水中ラドン濃度の測定と環境動態に関する研究

11:25 赤田尚史（核融合科学研究所）少量の環境水試料を対象とした低濃度トリチウム測定に関する検討

セッション2

（座長：坂口 綾）

11:40 大槻 勤（京都大学）福島で採取した放射性セシウムを含む微粒子の組成分析

11:55 松中哲也（金沢大学）陸水域における $^{129}\text{I}/^{137}\text{Cs}$ 比を用いた放射性ヨウ素と放射性セシウムの動態解析

写真撮影（※撮影会場までご案内いたします。）

12:10～12:20

昼食

12:20～13:10

(座長：古川 純)

13:10 内藤 健 (農業・食品産業技術総合研究機構) Vigna 属耐塩性野生種群に見られるナトリウム局在の特異性

13:25 頼 泰樹 (秋田県立大学) セシウム低吸収水稻の開発

13:40 北 和之 (茨城大学) 夏季-秋季における放射性セシウム大気再飛散のメカニズムと大気-植生循環の可能性

(座長：加藤弘亮)

13:55 吉村和也 (日本原子力研究開発機構) 市街地における雨水排水を介した放射性セシウムの流出

14:10 谷口圭輔 (福島県環境創造センター) 福島県内外の河川における放射性セシウムの形態別濃度測定について

14:25 久保田富次郎 (農業・食品産業技術総合研究機構) 農業用ため池の放射性 Cs 動態にかかわる課題

(座長：関口智寛)

14:40 田林 雄 (関東学院大学) 中程度汚染地域における森林内の ^{137}Cs の移行過程

14:55 伊藤芳樹 (株式会社ソニック) ドップラーソーダによる乱流測定の手順・大気安定度依存性

ポスター発表

15:15~16:15

総合討論・諸連絡等

16:15~16:30

閉会挨拶 浅沼 順 (筑波大学)

【懇親会】

17:00~ 乾杯の音頭 末木啓介 (筑波大学)

(ブロッサムホテル弘前：会費 5,000 円 ※会費は当日受付にて徴収します。)

【ポスター発表】 (ポスター番号, 氏名, 所属, 発表タイトル)

HY-01 真塩麻彩実 (静岡県立大学) 医療系廃棄物として水圏環境へ放出される白金, ガドリニウム, テクネチウム-99 分析法の確立

HY-02 阿部 悠 (福島県立医科大学) 染色体凝縮阻害剤を用いた新規細胞遺伝学的線量評価法の確立

HY-03 荻部甚一 (茨城大学) 請戸川流域における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの空間分布

HF-04 内山雄介 (神戸大学) 海洋および海底堆積層における懸濁態・溶存態放射性核種の再循環過程に関する解析技術の開発

HF-05 立田 穰 (電力中央研究所) 堆積物粒子中 $^{137}\text{Cs}/^{210}\text{Pb}$ 濃度比による粒子起源の推定手法

HF-06 熊本雄一郎 (海洋研究開発機構) 海域モニタリング試料を利用した 2011 年 5 月の福島県沿岸域における原発事故由来放射性セシウムの分布再現

HF-07 張 勁 (富山大学) 化学トレーサーを用いた海底地下水湧出による放射性セシウムの沿岸海域への移行プロセスの解明

HF-08 山形武靖 (日本大学) トリプル四重極型 ICP 質量分析計を用いた ^{129}I 測定法の開発

HF-09 鈴木正敏 (東北大学) 福島原発事故に被災した野生ニホンザル組織における放射線影響の解析

TY-10 野田祐作 (農業・食品産業技術総合研究機構) 高 Na 耐性を示す Vigna 属野生種を用いた Cs 吸収・蓄積機構の解析

- TY-11 張 子見(大阪大学) 乾性および湿性沈着による常緑樹葉面への放射性セシウムの吸着状況
- TY-12 佐藤志彦(日本原子力研究開発機構) 放射性粒子の同位体比分析高度化
- TY-13 辻 英樹(国立環境研究所) 林内雨中の溶存態放射性セシウムの挙動評価と現場濃縮装置の改良
- TY-14 脇山義史(福島大学) 除染が斜面スケールでの土砂および ^{137}Cs の動態に及ぼす影響
- TY-15 栗原モモ(産業技術総合研究所) 森林リターから溶出する放射性セシウムの存在形態
- TF-16 竹中千里(名古屋大学) コシアブラのセシウム吸収・蓄積におけるカリウムと菌根菌形成の関係
- TF-17 阿部善也(東京理科大学) 帰還困難区域の土壤中に残留する放射性物質の正体解明
- TF-18 二宮和彦(大阪大学) 福島第一原子力発電所事故に由来に土壤中の放射性ストロンチウム移動度決定
- TF-19 田中万也(日本原子力研究開発機構) 森林における放射性セシウムの化学状態の解明
- TF-20 宇都宮 聡(九州大学) 最先端電子顕微鏡法を駆使した微細鉱物に含まれる放射性核種の性状とその挙動に関する研究
- TF-21 保高徹生(産業技術総合研究所) 溶存態放射性セシウムの起源を探る
- TF-22 山口直文(茨城大学) 波浪による底質の巻き上げにおける含有泥質堆積物の影響
- TF-23 **Ismail M. M. Rahman (Fukushima University) Decontamination of radionuclide contaminated solids using biodegradable chelators coupled with monoclonal recognition.**
- TF-24 **Aleksei Konoplev (Fukushima University) Empirical and semi-empirical modelling of radionuclide dynamics in rivers.**
- TI-25 **Xinchao Sun (Tianjin University) Nitrate deposition processing of rainfall in forest canopies by using nitrogen and oxygen isotopic composition.**
- TI-26 **Lissak Candide (Caen Normandy University) Diversion of remote sensing techniques to estimate the quantity of available radioactive material in Fukushima forest ecosystems.**
- TI-27 **Sion Regan (University of Liverpool) Developing a vulnerability index for assessing riverbank erosion in large catchments.**
- TI-28 **Olivier Masson (IRSN) Observation of atmospheric radioactive cesium and its wet deposition and modelling of resuspension and deposition processes.**